横浜天声キリスト教会　週報　第 17 巻 51 号（No.671）　2022 年 12 月 18 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ヨハネ21:25 ・・・・・・・・・御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・105番　ひさしくまちにし
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・56番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・107番　永遠の門ひらけ
礼拝のための祈り ・・・・・・・成田エクレシア：史執事　天声：小林伝道師
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・116番　われらはきたりぬ（三人の博士）
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・この上もない主の喜びにあずかれる人たち(マタイ 2:1-12)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・110番　きよき調べ
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24 日 19 時、横浜天声キリスト教会にてクリスマス・イブ礼拝を行います。
25 日は午後が成田の礼拝となり、天声での英語礼拝はありません。
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。あなたは深い喜びと、大きな楽しみをお与えになり、____は御前に喜び祝った。刈り入れの時を祝うように、戦利品を分け合って楽しむように。彼らの負う軛、肩を打つ杖、虐げる者の鞭を、あなたはミディアンの日のように、折ってくださった。地を踏み鳴らした兵士の靴、血にまみれた軍服はことごとく、火に投げ込まれ、焼き尽くされた。ひとりのみどりごが_____のために生まれた。ひとりの男の子が_____に与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君」と唱えられる。（イザヤ 9:1−5）
「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、____に伝える。きょうダビデの町に、____のために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。
____は、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。
それが、____に与えられるしるしである」。（ルカ 2:10−12）

メッセージ概要

赤ちゃんとして世に来られた「特別な」イエス様へと導かれた人達は、羊飼いや東方の博士達（異邦の占星術師）という、一般のユダヤからは”のけ者”にされそうな人達だった。なぜ彼らが導かれたのだろうか。主の前で重要なものは、社会的地位ではなく、**主に心から会いたいと願う心**であり、そのような熱心を持つ人々に、主は御使いを遣わされたり、天をも動かして便宜を図って下さる。博士達はメシヤの星が出現した時、日常の全てを脇に置き、高価な献げ物を携え、星の光だけを頼りに故郷を出た。具体的な行き先は知らないし途中、強盗に遭うかもしれないのに…。主は彼らのように**特別に**主を慕い求め、取るも取りあえず行動する人のために**特別な便宜**をはかり、**特別な主の奇跡を起こし、特別な姿の主と出会わせて下さる**。

博士達は、ユダヤ人の王がお生まれになった、という事なので、とりあえずユダヤの王宮に来て尋ねた。それに対し、ヘロデ王やエルサレム中の人々に沸き起こったものは、「恐れ」だった。なぜメシヤのおとずれを喜ばず、恐れるのか。彼らは、世の権威からの恩恵に少しでもあやかりたいと思っているため、神が認証された真の王など、来て欲しくないのだ。自分の思い通りにできて慣れ親しんでいた「自分の王国」を手放す事が嫌な人ほど、主の良き知らせを受け入れる事が難しく、主の特別な現れに出会う事ができない。
もし**自分が誇りとする「冠」を、全部ほふられた小羊なるキリストの前に投げ、また、赤ちゃんであられるイエス様の前に全面的にひれ伏すなら、その人は特別な形でイエス様と会合し、彼の奇跡が体験できる**。
博士達も、ヨセフとマリヤも、日常生活を投げ出して導きに従ったし、羊飼いは最初から冠も生活も投げ出し、神に捧げられる羊を日夜養っていた。だからこそ天的な奇跡へと導かれ、特別な体験ができたのだ。

ヘロデ王は博士達からひそかに星の出現の時間を聞き出し、彼らに調査を依頼して送り出した。それは、赤ちゃんである王を、密かに殺すためだった。ヘロデは預言を信じたからこそ、そのような行動に出たのだ。ヘロデは、全能の神が何世紀も前から定め、認証し、預言されていたユダヤの王を、博士たちをだましさえすれば抹殺できる、と本気で思っていたのだ。実に愚かに見えるが、彼らのように神を恐れず、儚い罪の楽しみにふけりながら王のままで居たい者は、全能の神さえ自分のだまし術で出し抜ける、と思っている。
しかし私達の主・イエス様は、時間・空間の支配者であり、人の心を探り極めるお方である。世の王達がどんなに策略を巡らし、権威や経済を駆使して、聖なるいのちを抹殺しようとしても、そうはいかないのだ。
主は、博士たちのためには天体を動かし、彼らをイエス様とマリヤ・ヨセフが宿っている家へと導かれた。主は、主と出会いたいと願う人達、すなわち、全てをなげうっても主を礼拝したいと願う人達のためには、**宇宙を動かして全ての必要を備え、非常な喜びにあふれる体験をさせて下さる**。時間も空間も支配しておられる偉大なお方が、こんな異邦の占星術師である自分達のために宇宙を動かし、何世紀も前から預言されていた偉大な王へと出会わせてくれた…。**その偉大な王とは、馬槽の中に宿る赤ちゃんという、貧しく慎ましい姿で天から来られた…**。その喜びは、ヘロデ王達には決して味わえない**この上もない喜び**である。彼らは幼子の前にひれ伏して拝み、高価な尊いものを捧げた。私達も、幼子として来られたイエス様、ほふられた小羊なるキリストの前に出るなら、冠も栄光も全てを投げ出し、ただひれ伏す以外には無い。
博士たちが捧げたものは、これからのマリヤとヨセフに必要となるものだった。マリヤとヨセフは、メシヤを産んで育てるという特殊な「使命」にある故に、全てを投げうって旅に出ており、彼らはその後、日常には戻れず、すぐエジプトへ逃避しなくてはならない。私たちの内におられるメシヤも、赤ちゃんのように見えるかもしれない。大きく育つまで、時間や手間がかかるように見えるかもしれない。しかし主は、**主のために全てを投げ打って全てを使い果たした人に、有り余る必要を備えてくださるお方**であり、しかもその備え方は、石ころをパンに変えるような無粋な備え方ではない。主は、尊い志のある「持っている人」が、尊い志のある「持っていない人」に分け与える、という、**聖徒の愛と尊厳が発揮されるような、尊い方法で備えてくださる**。

彼らは素晴らしい礼拝を捧げた後、ヘロデの所へ戻るな、という戒めを受け、別の道から帰って行ったので、ヘロデ王をはじめ王宮の人達は、見事スルーされてしまった。**自分が独占的に支配者になっていたい者は、主の尊いおとずれからスルーされしてしまう**が、博士たちやマリヤ・ヨセフ夫婦のように、主のためにすべてを投げ打つ人には、主は特別な形で、独占的に現れて下さる。このアドベントの時期、主の特別なあらわれや、宇宙的な導き、主の奇跡的な必要の満たしに、独占的にあずかれる私達でありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時頃
English Service	14～15 時頃開始

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 17 巻 51 号　　2022 年 12 月 18 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp